

7月ゼミ室

活動内容

・「郡内織物の歴史」講座（知念浩生さん） ・手織り洋服デザイン検討（清水寿子さん）

ようす

講座では、みなさん熱心に話を聞いており、また興味をもともとあるためか質問も多く出たのが印象的だった。コンセプトやデザインからよく検討して欲しいという旨を伝えたところ（詳細のプリントはP11参照）、40代までの方にはすんなりと意図が伝わったようで、悩みながらも考えてくださっていた。60代以上の方は、何か意図を持って作るというよりは、とにかくいろんなものを作

りたいという思いがあるようで、反応も芳しくなかった。

糸の選択に悩む人が多く、実物がないとイメージがしにくい様子だった。ただ悩みながらもこれからどんなものを作ろうかワクワクしているようすも見受けられた。経験者の2名はだいぶ手馴れたようすで、他の人に教える立場に回ってくださった。今月は大月短大生が手伝ってくれた。

参加者の声



知念浩生さんの講演会のようすと織物を検討しているようす

・甲斐絹として広く知らしめたのは、流通のしくみづくりにありという話がとても興味深く思います。織物そのものですが、こういうサクセスビジネスのモデルの歴史として背負い点をあてるのもプロジェクトXのようで面白いと思いました。

・知念さんのお話しが参考になりました。みなさんとても意欲的で勉強になります。

・普段から手芸が好きですが、布だけはあるものを買わなければならないので、布から作れることがとても楽しみです！

TEORI design idea

seen

普段から服装に気をつける都留文科大学の男性 A さん。しかし、あまりにも奇抜なものを着れば都留では浮いてしまう。通学の際、ドレッシーになりすぎず、それでも他の大学生とはちょっと違う。そんな思いを叶える 1 着を。

sudual

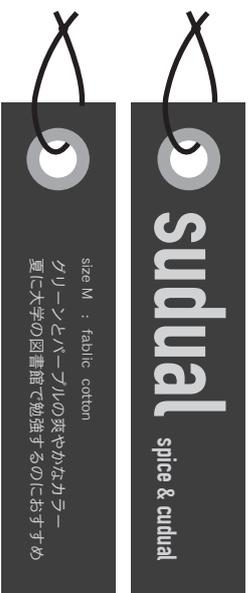
spice & cutdual

BRAND

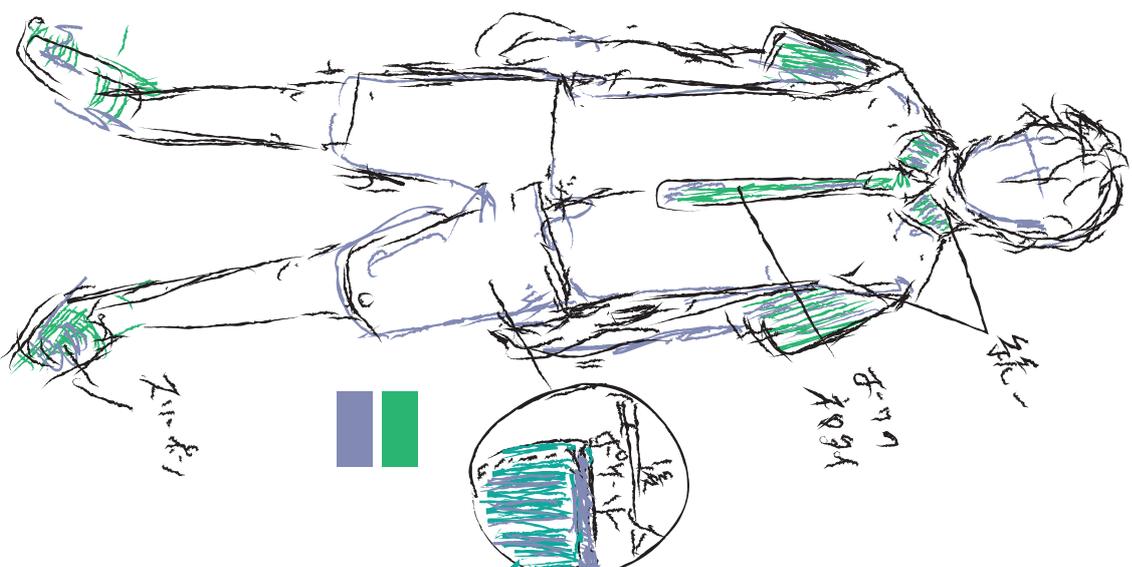
sudual (サジュアル)

concept

カジユアルな普段着。でも手織というスパイスが効いて、他の人とは違いが出せる服。奇抜すぎず普段使いできるのがポイント。



white



black

